

大阪駅北地区まちづくり推進協議会

## 2期ビジョンの検討状況について

大阪駅北地区2期開発ビジョン企画委員会  
委員長 西尾章治郎（大阪大学）

平成20年8月29日

## 委員会の構成

## 委員名簿

委員長	大阪大学 理事・副学長	西尾 章治郎	委員	西日本旅客鉄道株式会社 取締役兼専務執行役員 創造本部長	近藤 隆士
委員	甲南大学経営学部 教授	安積 敏政	委員	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構審議役	三輪 誠
委員	大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 教授	池 道彦	委員	大阪商工会議所 専務理事	灘本 正博
委員	京都大学大学院経済学研究科 教授 京都大学大学院地球環境学堂 教授	植田 和弘	委員	社団法人 関西経済同友会 常任幹事 梅田北ヤード委員会委員 長	篠崎子 由紀
委員	京都大学公共政策大学院 特別教授	佐伯 英隆	委員	社団法人 関西経済連合会 専務理 事	奥田 真弥
委員	兵庫県立人と自然の博物館 副館長 兵庫県立大学 教授	中瀬 勲	委員	独立行政法人 都市再生機構 西日本支社副支社長	加藤 育生
委員	大阪市立大学大学院 理学研究科 教授	橋本 秀樹	委員	大阪市計画調整局長	北村 英和
委員	京都市立芸術大学美術学部 准教授	藤本 英子			

## 開催日時

第1回 大阪駅北地区2期開発ビジョン企画委員会 平成20年7月2日

第2回 大阪駅北地区2期開発ビジョン企画委員会 平成20年8月22日

# 大阪駅北地区のポテンシャルと役割

## 北地区のポテンシャル

- 一体的な計画が可能な「最後の一等地」
- 西日本最大の交通ターミナル
- 関西国際空港により東アジア経済圏へのアクセスが容易
- 大阪での様々な都市機能(産業・経済・文化等)の集積
- ロボット・情報技術(IT)、コンテンツ等を中心としたナレッジ・キャピタルによる知的集積(先行区域開発計画)

## 北地区の役割

- 関西の経済を牽引する新産業の創出や育成
- アジア諸都市との国際交流の促進と「関西」・「大阪」の知名度を高める情報発信
- 優れた人材や技術、知的財産を活用し、新たな価値を創造する交流や連携・人材育成の仕組みの充実
- アジアとつながるゲートウェイとしてふさわしい都市空間の整備と、これからの都市モデルの提示
- 新しいライフスタイルの創造・発信と集客

# 世界の動向にみる2期開発ビジョン検討課題

## 地球環境問題への対応

- 関西の産業の重点分野として環境技術を重視し、関連技術の研究開発と関連ビジネスの育成

## 新しい都市開発モデルへの期待

- 健康への配慮やエネルギー消費量の低減など、都市開発の新しいモデルを世界に提示

## 人口減少・少子高齢化への対応

- 人材の求心力として、住みやすく、働きやすい快適な都市空間の実現
- その魅力による産業を支える人材の確保

## ライフスタイルの変化への対応

- 自然と共生する暮らしなど、日本らしいライフスタイルへの転換(ただし、前向きな回帰)

## 都市間競争の激化への対応

- 世界への情報発信と、とくに成長する東アジア圏での存在感の確保

## 産業分野の質的転換への対応

- 高度な大学・研究開発機関の集積や、ものづくり基盤産業の集積を活かした「イノベーション力」の向上

## 世界の動向をベースとした2期開発ビジョン策定

地球環境問題への対応

新しい都市開発モデルへの期待

地球にやさしい環境の創出（クール・アース：Cool Earth）

人口減少・少子高齢化への対応

ライフスタイルの変化への対応

未来の快適な生活空間の創出（アンビエント・ライフスタイル）

都市間競争の激化への対応

情報発信：世界における関西・大阪の存在感の高揚

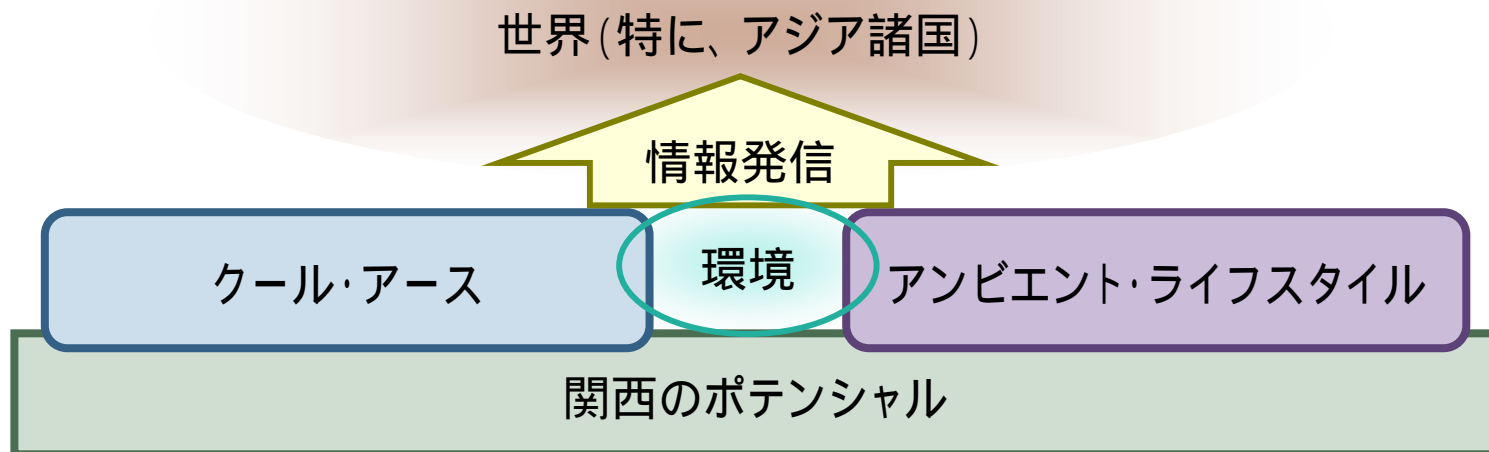
産業分野の質的転換への対応

基盤技術・新産業・ビジネスのイノベーション創出

## 2期開発計画における拠点形成

### 「環境」をテーマとした拠点形成

グローバルな社会・経済環境を展望して、2期開発区域においては、クール・アース、アンビエント・ライフスタイルの実現を目指す新産業創出や人材の確保、情報発信力強化などの関西の多面的な課題を同時に解決



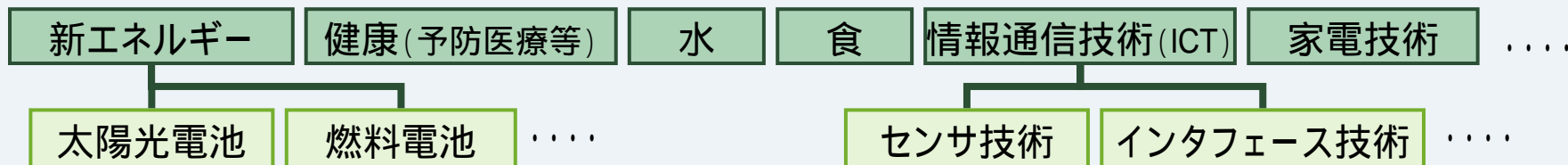
### 環境にかかる関西のポテンシャル

- 省エネルギー家電に加え、太陽電池や燃料電池など、優れた新エネルギー技術や製品を有する企業の集積
- アンビエント・ライフスタイルを実現するための情報通信機器、空調機器、家電関係の企業の集積
- 大学関係、(財)地球環境産業技術研究機構(RITE)、(独)情報通信研究機構(NICT)、(株)ATRなど環境関連の研究機関の集積
- 企業のCSRが活発で、環境に対する高い意識レベル

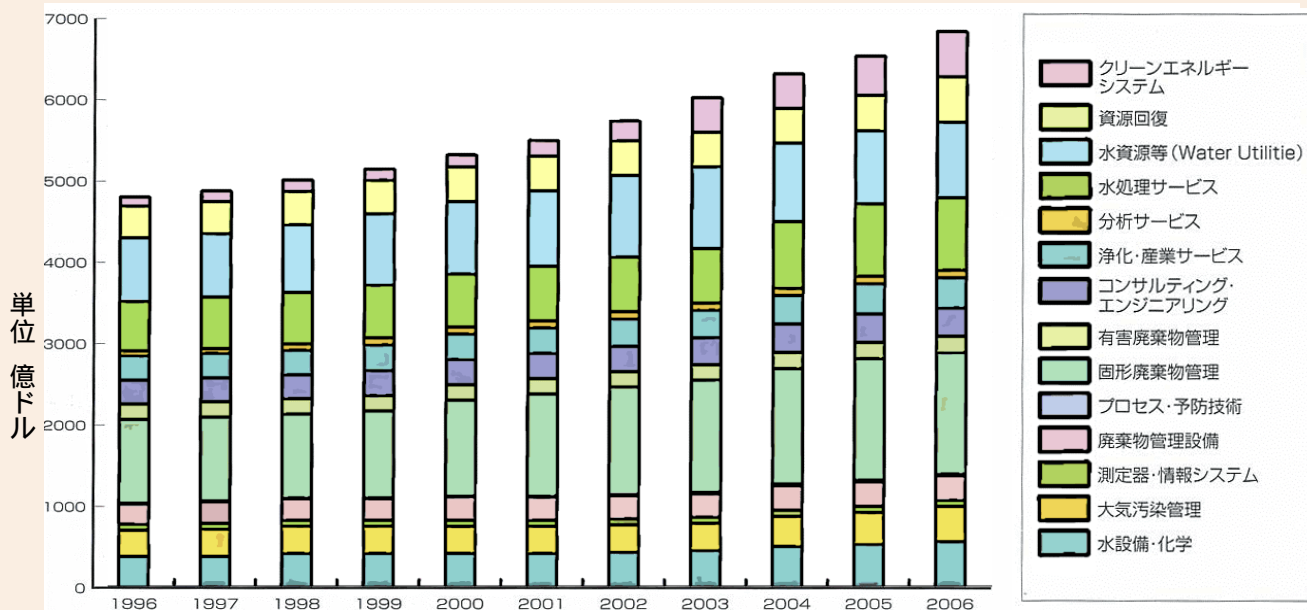
# 「環境」で対象とする産業・ビジネス分野

クール・アース、アンビエント・ライフスタイルを実現するための「環境技術」は裾野が広く、対象とすべき産業分野は幅広い。

## 2期開発計画で取り組む産業分野リスト(例)



## 世界の環境ビジネス市場の推移



出典: TOYRO BUSINESS, Vol.133, p. 9

Environmental Business International社資料により環境省作成

## 2期開発による関西パワーの強化

### 都市文化

関西から日本らしさを再提言

- 新しいライフスタイルの創造・発信(生活文化・食文化、市民芸術、自然との共生を大切に暮らすなど)
- 都市ブランドの創出

### 国際

アジアでの関西の存在感を確保

- 環境技術や都市づくりをテーマとしたアジアとの協力・連携
- アジア人との人・情報・文化の交流(アジアゲートウェイ)

### 経済・産業

関西の経済を牽引

- 大学・研究機関の「知」の集積を活かした新たな産業分野(環境技術、新エネルギー、水など)の創造
- 優れた企業の誘致

クール・アース、  
アンビエント・ライフスタイルを  
実現する「環境」

### 都市空間

アジアと関西をつなぐゲートウェイ

- 質の高い都市魅力の充実
- サステイナブルな都市空間の創出
- 優れた人材を集める基盤

### 交流・発信

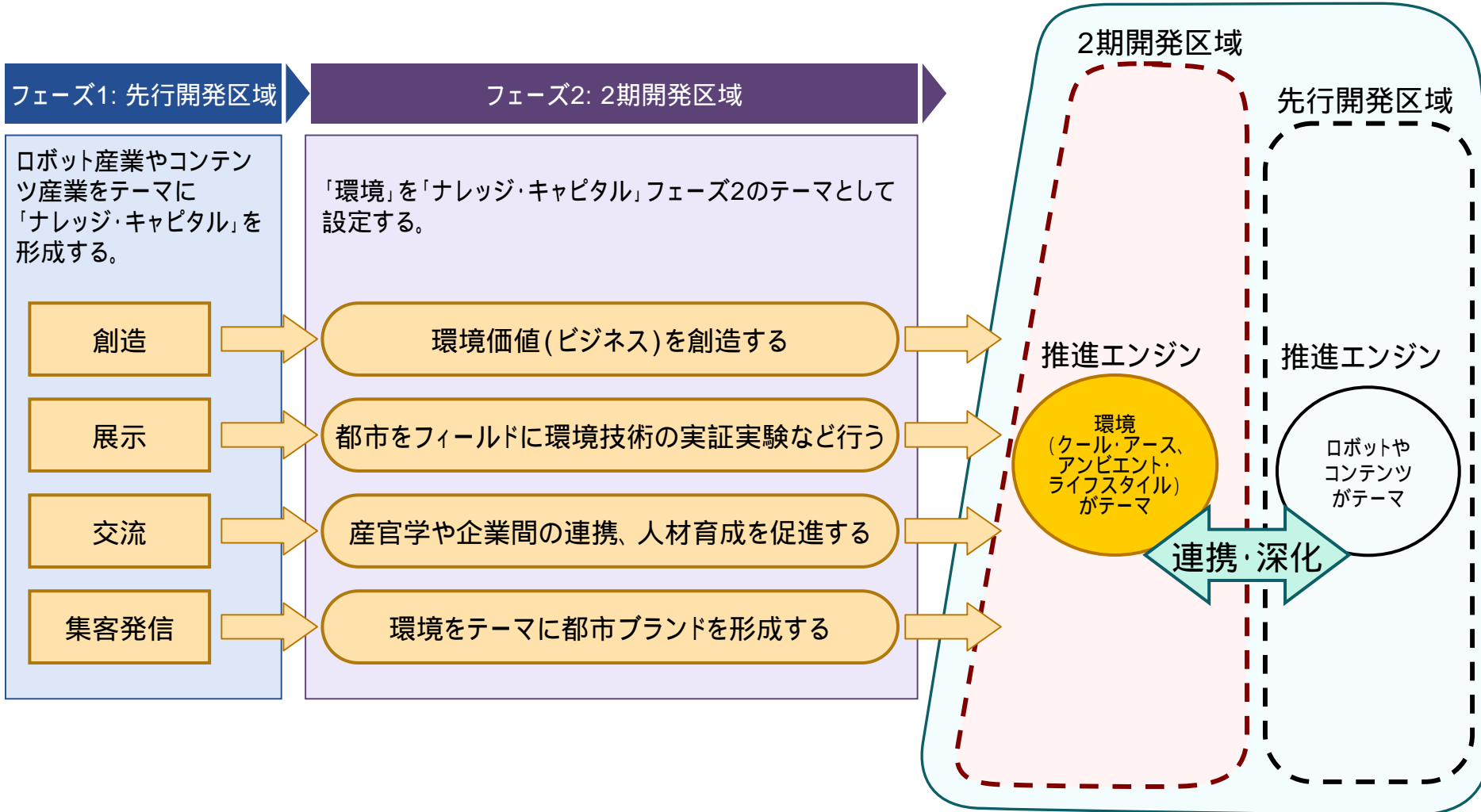
関西の情報発信力の強化、優れた人材の確保

- 分野間連携・産官学連携の促進
- 「環境」を求心力とした、知恵と品格のある人材の交流と育成
- 知的財産の活用

# 2期開発によるナレッジ・キャピタル構想の深化

## 未来の知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)の仕組み

先行開発区域での成果を生かし、2期開発で深化する。



# 機能ビジョンと空間ビジョンによる2期開発計画 (機能ビジョン)

## 機能ビジョン(中核機能)

【目標】クール・アース、アンビエント・ライフスタイルを実現する環境技術の知的創造拠点

先進的な研究開発、情報発信拠点  
 産官学の連携拠点  
 人材交流・育成拠点  
 ビジネス、都市ブランドの創出拠点

- 環境活動の文化的位置づけ
- アートとITの融合によるアーティストや技術者が集まる都市機能 など

- 新産業を育成し大阪の経済を牽引する役割
- 先進的な環境技術の世界(特にアジア)への発信基地としての機能
- 低炭素社会を実現する関西の環境先進地域
- 企業のCSR部門の連携によるプロジェクトの実施 など

- 環境に関する「実証」の場 (例:エネルギー自給率を目標として掲げた環境配慮型まちづくりの実証実験)
- 省庁、自治体、組織のシームレスな連携による取り組み
- 周辺の研究拠点の結節点としての視点が必要 など

- 環境体験機能(楽しく遊び・学べる場)
- 環境技術スペシャリストの育成 など

# 機能ビジョンと空間ビジョンによる2期開発計画(空間ビジョン)

## 空間ビジョン

【目標】北地区の総合的な価値を高める  
ランドスケープ・アーキテクチャの実現

ゆとりと開放空間を有し、質の高い緑の確保  
(建物群の付加価値を向上する空間の創出)

防災性の高い安全な空間の形成

大阪駅北地区全体としての調和した都市  
空間の創出

地域の価値向上に資する運営管理システムの  
導入など

- 環境配慮型まちづくりの必要性
- ヒートアイランドや低炭素社会に貢献するまち
- 周辺・地区全体での環境に対する一体的な取り組み  
など

- 地域の価値を高めるゆとりある開放空間形成
- 地域固有種、郷土種による緑化など、質を重視した緑の空間形成
- 立体緑化や生態修復  
など

- 環境と防災の複合的利用(平時・有事)
- 帰宅困難者への対応
- 国の防災としての機能  
など

- ゾーン相互の相乗効果
- 機能と連携した空間形成の必要性
- 大阪駅北地区全体を考慮した風の道の検討  
など

## Status Update: 2期開発ビジョン構想

- 関西の優位とする環境先端技術を基盤とした新産業を創出し、アジアに向けて情報を発信する都市型拠点を目指す。
- ナレッジ・キャピタルの基本機能(創造・展示・交流・集客発信)を深化させ、環境をテーマとして、2期開発区域の発展を促す機能ビジョン・空間ビジョンからなる「推進エンジン」をつくる。

